

1/2

父藝春

羽前朝日嶽の山脈の延びて來てゐる山麓の  
 村には、炭焼を渡世にしてゐるものが幾軒か  
 ある。彼等は主に雪の降りはいぬるところから  
 活動する。空竈は水を自由に引ける山麓に造り、形は大  
 低卵円形である。土台と内面とを石で築き、  
 外面に土を塗るのである。竈の大小は種々ある  
 が、縦五尺に横三尺のものを三五さんごの空竈といひ

農家

○炭焼のこと

雜筆

結城哀草果

山形 6.2.4

